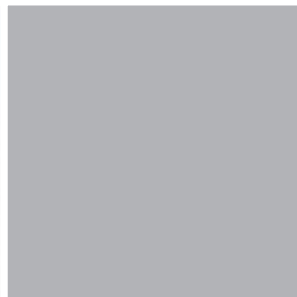


第144期 期末報告書

2019年1月1日から2019年12月31日まで



2019年度連結決算は増収増益 期末配当は2円増配

当期利益は過去最高に

2019年度の日本経済は生産活動が引き続き低調な中、消費増税に伴う駆け込み需要の反動や台風の影響などで消費活動が鈍化し、景気は足踏み状態となりました。世界経済は米国では景気が回復基調となりましたが、欧州や中国では景気低迷が続きました。こうした状況の中、当期の売上収益は前期比微増の6,505億円、事業利益は同15.4%減の501億円となりました。また、第1四半期の固定資産の売却、第3四半期のインドの法人税率引き下げに伴うATG（アライアンスタイヤグループ）組織再編時に計上した税金負債の取り崩しなどにより営業利益は同9.5%増の586億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同17.8%増の420億円となりました。この結果、売上収益、当期利益は過去最高となりました。これを受けて期末配当金は当初予定に対し一株当たり2円増配の33円とし、年間では一株当たり64円としました。2020年度は売上収益6,600億円（前期比1.5%増）、事業利益550億円（同9.7%増）、営業利益545億円（同6.9%減）、当期利益380億円（同9.5%減）を計画しています。

中期経営計画「GD2020」の2年目が終了

2018年度からスタートした3カ年の中期経営計画「GD2020（グランドデザイン2020）」は、2019年度で2年目が終了しました。「GD2020」の位置づけは、横浜ゴムの強みを再定義し、独自路線を強めた各事業の成長戦略を通じて経営基盤を強化し、来たるべ



き2020年代におけるさらなる飛躍に備えることです。2019年度も最終年度の2020年度に向けて弾みをつけるべく、各事業の成長戦略を力強く推進するとともに、ESG活動や働き方改革など経営基盤の強化に取り組みました。

ホビータイヤが国際的な賞を相次いで受賞

タイヤ消費財事業の成長戦略のひとつである「プレミアムカー戦略」では、ポルシェ「カイエン」やトヨタ「C-HR “GR SPORT”」などハイインチ高性能タイヤを中心にプレミアムカーへの新車装着が拡大しました。「ウインタータイヤ戦略」では日本でオールシーズンタイヤ「ブルーアース・フォーエス・エーダプリー・ニイチBluEarth-4S AW21」を販売したほか、北米に「アイスガードiceGUARD」ブランドから乗用車用とSUV用の2商品を投入しました。「ホビータイヤ戦略」では「アドバンADVAN」や「ジオランダーGEOLANDAR」をはじめとした新商品

投入とサイズラインアップ拡充を意欲的に行いました。当社のホビータイヤは、2つの国際的なプロダクトデザイン賞の受賞や米国「SEMA Show」のタイヤアワードを独占するなど世界市場で高い存在感を示しています。「お客様とのコミュニケーション活性化」ではイベント、SNSなどを通じた日常的なコミュニケーションの向上や様々な参加型イベントを開催しています。また、商品開発にお客様の声を取り入れる活動も行っています。

OHTが力強く成長

タイヤ生産財事業では、農業機械用・林業機械用などATGのオフハイウェイタイヤ（OHT）が圧倒的なコスト競争力と多様な商品ラインアップを武器に力強く成長しています。インドのダヘジ工場は予定通り2019年末に1.6倍の生産能力増強が完了しました。商品では「Alliance 398 MPT」がドイツで開催された世界最大の農業機械展で銀賞を受賞したほか、オールスチールラジアルタイヤ「Alliance 392 HD」が自動車として世界最高地点に到達したトラック遠征プロジェクトをサポートするなど、成長戦略に掲げた「OHTを成長ドライバーとした事業拡大」を着実に進めています。「北米事業基盤を活かしたトラック・バス用タイヤの拡販」では、2019年3月にヨコハマタイヤ マニユファクチャリング ミシシッピ, LLCが「IATF16949」認証を取得し継続的なOE納入を実施しています。また、超扁平シングルタイヤ「114R」を北米で発売しました。超扁平シングルタイヤは三重工場の増強を段階的に進めており、2020年上期より設備能力が倍増となる見込みです。

MB事業では2019年6月に世界最大の超大型空気式防舷材の納入を開始しました。同事業戦略のひとつである「海洋事業を確固たる世界No.1へ」を引き続き推進します。

ESG活動が世界的に高く評価

経営基盤の強化では「財務体質の改善」「企業風土の変革」「リスクマネジメント」に努めています。近年、重要性が一段と高まっているESG活動では、再生可能エネルギーの活用拡大や環境貢献商品の開発推進、持続可能な天然ゴム調達の実現に向けた農園支援や労働状況の調査、独立社外取締役や外国人取締役の登用などに取り組みました。また「多様な人材活用」「仕事と生活の両立支援」を軸に社員の働き方改革を進めています。当社のESG活動は国際的な環境非営利団体「CDP」の「気候変動 Aリスト 2019」に選定されたほか、ESG投資の世界的指数「FTSE4Good Index Series」に15年連続で選ばれるなど世界的に高く評価されています。

2020年度も「GD2020」の目標達成に邁進するとともに、世界中のお客様から必要とされる企業を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、さらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年3月

代表取締役社長
山石 昌孝

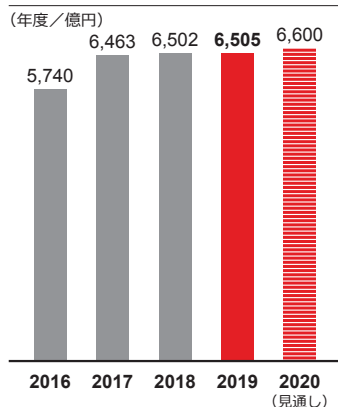
■ 連結の業績概況

経営成績

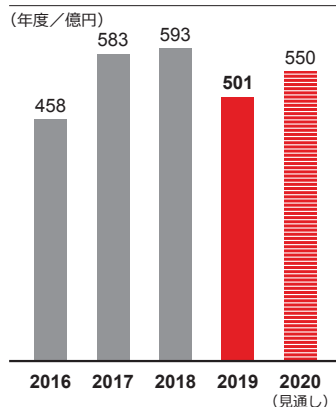
当期の連結決算は、売上収益が前期比微増の6,505億円、事業利益が同15.4%減の501億円となりました。また、固定資産の売却やインドの法人税率引き下げに伴う税金負債の取り崩しなどから営業利益は同9.5%増の586億円、親会社の所有者に帰属する当期

利益は同17.8%増の420億円となり、売上収益と当期利益はそれぞれ過去最高となりました。タイヤは低調でしたが、MBは工業資材や航空部品が伸びました。オフハイウェイタイヤを生産販売するATGは特に市販用の販売が好調でした。

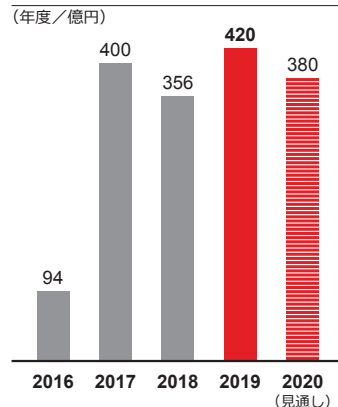
売上収益



事業利益

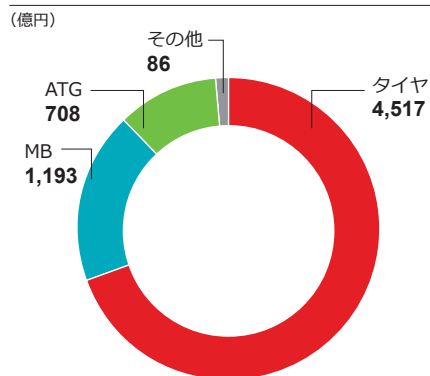


親会社の所有者に帰属する当期利益

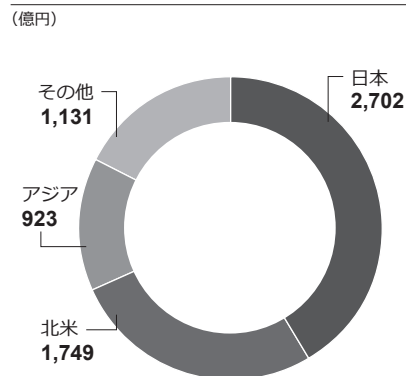


※ 事業利益 = 売上収益 - (売上原価 + 販売費及び一般管理費)

売上収益内訳



所在地別売上収益



事業別

タイヤ

売上収益 **4,517**億円 事業利益 **308**億円

売上収益は前期比0.7%減の4,517億円となったほか、事業利益も物流関連費用の悪化や円高の影響などにより同27.3%減の308億円となりました。新車用は国内で納入車種の切り替えなどにより販売が低調だったほか、北米以外の海外も販売が振るわず売上収益は前期を下回りました。市販用はグローバル・フラッグシップブランド「ADVAN」や低燃費タイヤブランド「BluEarth」、SUV・ピックアップトラック用タイヤブ

ランド「^{ジオラランダ}GEOLANDAR」など高付加価値商品の拡販に努めたほか、中期経営計画「GD2020」に沿った各種戦略を進めました。国内では夏用タイヤの販売は順調に推移しましたが、年初および年末の暖冬の影響で冬用タイヤの需要が伸びず、全体の販売本数は前期並みを確保したものの、売上収益は前期を下回りました。一方、海外では販売が順調に推移しました。これにより市販用タイヤ全体の売上収益は前期を上回りました。

MB

売上収益 **1,193**億円 事業利益 **83**億円

売上収益は前期比1.3%増の1,193億円、事業利益は同12.4%増の83億円となりました。ホース配管は建機需要が中国で低調だったほか、国内でも台風の影響などで減少し、売上収益は前期をわずかに下回りました。工業資材は国内外でコンベヤベルトの販売

が順調で、売上収益は前期を上回りました。ハマタイトは自動車関連が振るわず、売上収益は前期並みとなりました。航空部品は民間航空機向けラバトリーモジュールの補用など民需向けや官需向けがともに好調で、売上収益は前期を上回りました。

ATG

売上収益 **708**億円 事業利益 **104**億円

売上収益は前期比3.1%増の708億円、事業利益は同23.0%増の104億円となりました。農業機械用、産業車両用タイヤをはじめとするオフハイウェイタイヤ

において特に市販用タイヤの販売が好調で、売上収益、事業利益とも前期を上回りました。

「株主・投資家の皆様へ」サイトのご案内

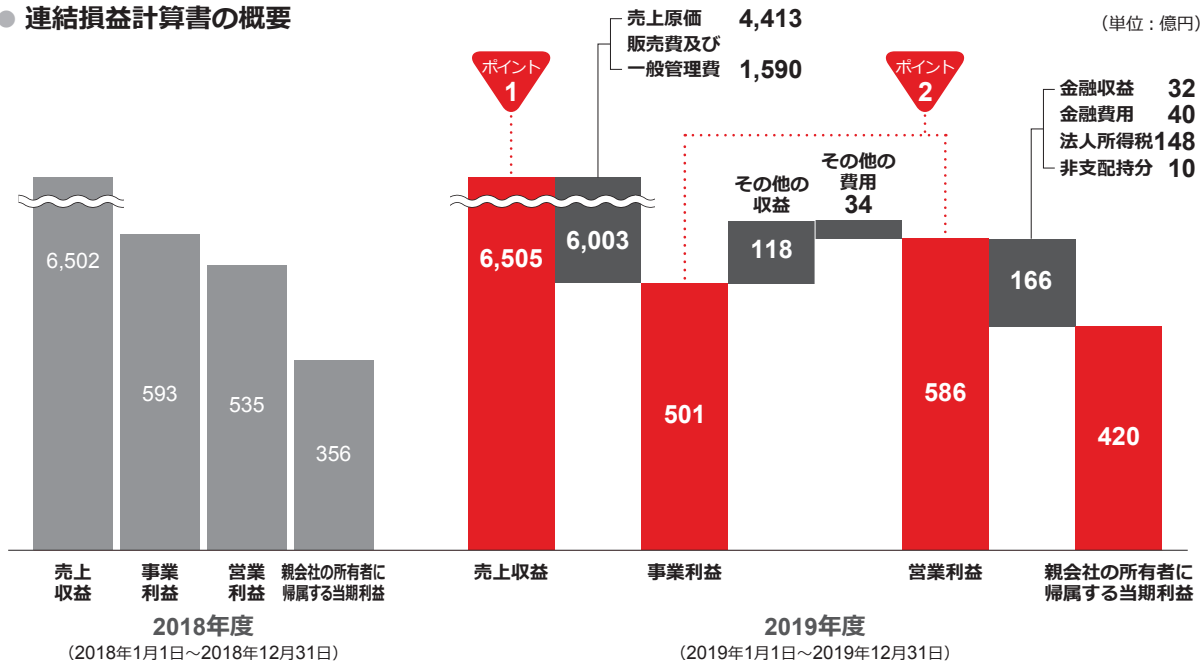
当社の「株主・投資家の皆様へ」サイトでは、最新の会社情報やIR資料などを掲載しています。特に「決算説明資料」ページでは、業績・財務情報についてより分かりやすくご紹介するため、決算説明会のプレゼンテーション資料とその詳細な説明を掲載しています。ぜひご利用下さい。

URL: <https://www.y-yokohama.com/ir/>

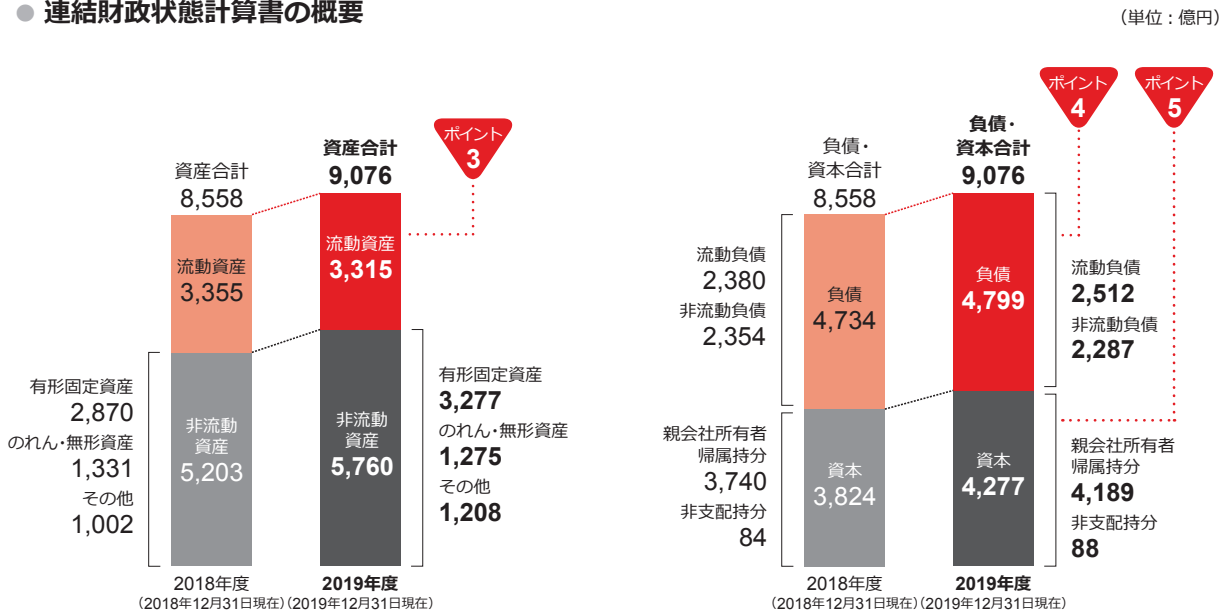


■ 連結財務データ

● 連結損益計算書の概要

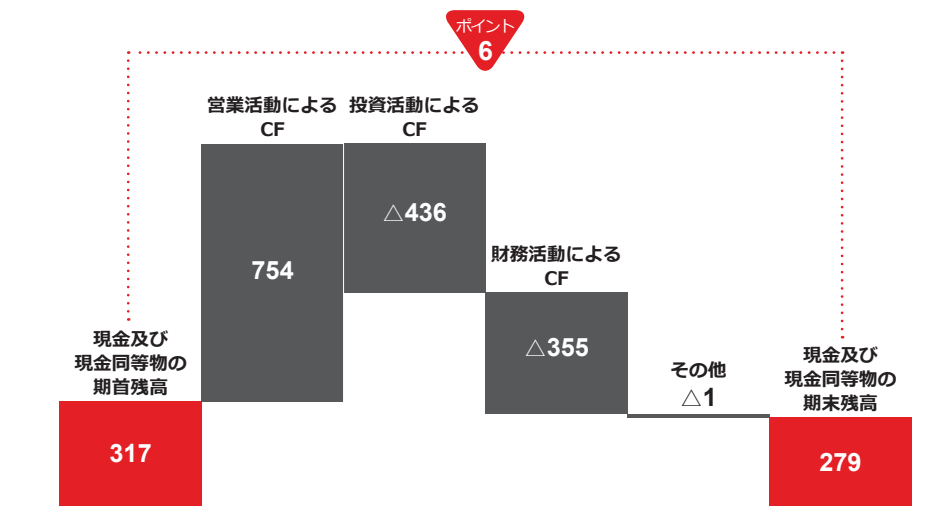


● 連結財政状態計算書の概要



● 連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要

(単位：億円)



2019年度

(2019年1月1日～2019年12月31日)

ポイント 1 売上収益

タイヤは低調だったものの、MBやATGが好調で前期比微増の6,505億円となりました。

ポイント 2 事業利益・営業利益

事業利益は前期比15.4%減の501億円となりました。営業利益は第1四半期に固定資産の売却をしたことなどから同9.5%増の586億円となりました。

ポイント 3 資産

前期末比517億円増の9,076億円となりました。IFRS第16号「リース」適用開始により使用権資産が増加したことや投資有価証券が時価評価によって増加したことが主因です。

ポイント 4 負債

前期末比65億円増の4,799億円となりました。IFRS第16号「リース」適用開始によりリース債務が増加したことが主因です。

ポイント 5 資本

前期末比453億円増の4,277億円となりました。親会社の所有者に帰属する当期利益を計上したことが主因です。

ポイント 6 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動による資金の増加は、税引前利益の計上などにより754億円となりました。投資活動による資金の減少は、有形固定資産の取得による支出などで436億円となりました。財務活動による資金の減少は、長期借入金の返済による支出などで355億円となりました。

タイヤ

2つのSUV用タイヤを発売

昨年9月にSUV・ピックアップトラック向けタイヤ「GEOLANDAR X-AT」、ジオランダー・エクスエーティー本年2月にクロスオーバーSUV向けマッド&スノーグラウンドツーリングタイヤ「GEOLANDAR CV G058」ジオランダー・シーブイ・ジーゼロゴーハチを発売しました。「GEOLANDAR X-AT」は優れたオフロード性能に加え、オンロードでの快適性や環境性能を両立。「GEOLANDAR

CV G058」は安全性や静粛性などを高めながら、耐摩耗性能や低燃費性能にも配慮しました。2商品とも急な降雪に対応する「M+S（マッド&スノー）」規格を獲得しています。



クロスオーバーSUV向けサマータイヤ「BluEarth-XT AE61」発売

本年2月、クロスオーバーSUV向けサマータイヤ「BluEarth-XT AE61」ブルーアース・エクスエーティー・エーイーロクイチを発売しました。クロスオーバーSUVユーザーからのニーズが高いオンロード性能を重視して開発し、市街地や高速道路を思い通りに走るハンドリング性能や静粛性のほか、偏摩耗を抑制することでロングライフ性能を実現。また、全サイズで国内タイヤラベリング制度のウェットグリップ性能最高グレード「a」、転がり抵抗性能「A」を獲得しました。



乗用車用オールシーズンタイヤ「BluEarth-4S AW21」発売

本年1月、乗用車用オールシーズンタイヤ「BluEarth-4S AW21」ブルーアース・フォーエス・エーダブリュー・エーイチの国内本格販売を開始しました。オールシーズンタイヤはドライ・ウェット路面から雪道まで様々な路面状況に対応し、シーズン毎のタイヤ交換や保管場所が不要となることから利便性が向上します。同商品は優れた雪上・ウェット性能を両しながら、ドライ性能と耐摩耗性能を確保。国際基準に適合した証「スノーフレックマーク」が刻印されており、チェーン規制時でも走行が可能です（全車チェーン規制時を除く）。



ポルシェ社のプレミアムSUVに新車装着

独・ポルシェ社のプレミアムSUV「Cayenne」カイエンの新車装着用タイヤとして、昨年7月に北米向けオールシーズンタイヤ「AVID GT」エイビッド・ジーティー、10月にハイパワー・プレミアムカー向け高性能タイヤ「ADVAN Sport V105」アドバン・スポーツ・ブイイチマルゴの納入を開始しました。今回納入したタイヤはポルシェ社と共同開発したもので、タイヤサイドには同社の承認を示す「N0」のマークが刻印されています。「Cayenne」への装着は初代モデルから継続しており、今回で3代目となります。



「AVID GT」(左)と「ADVAN Sport V105」

世界的に権威ある賞を相次いで受賞

昨年11月、世界最大規模の自動車用品ショー「2019 SEMA Show」(米)の「New Products Award」においてSUV・ピックアップトラック向けタイヤ「GEOLANDAR X-AT」ジオランダー・エックスエーティーが「Best New Tire Winner」、ハイパフォーマンス・クロスオーバーSUV向けタイヤ「GEOLANDAR X-CV」ジオランダー・エックスシーブイおよび北米向けウルトラハイパフォーマンスサマータイヤ「ADVAN APEX V601」アドバン・アペックス・フィロクマルイチが「Runner-up Awards」を受賞し、タイヤ関連部門賞を独占しました。また「GEOLANDAR X-AT」と「GEOLANDAR X-CV」は12月、世界で最も歴史があり国際的に権威のあるデザイン賞「シカゴ・アテネウム グッドデザイン賞 2019」も受賞しています。



「Best New Tire Winner」を受賞した「GEOLANDAR X-AT」

世界最高地点へのトラック遠征プロジェクト達成をサポート

昨年12月、グループ会社のATGがオールスチールラジアルタイヤ「Alliance 392 HD」アライアンス・サンキューニエイチディーを供給したトラック遠征プロジェクトが海拔6,694mに到達し、自動車として世界最高地点となる遠征を達成しました。同プロジェクトは世界最高峰の活火山「オホス・デル・サラード山」に避難所



「Alliance 392 HD」を装着したトラック

および緊急無線システムを設置することを目的として実施。「Alliance 392 HD」は鋭利な溶岩、火山砂や急斜面、-30°C～35°Cの温度領域など過酷な状況でも優れた性能を発揮しました。

農業機械用タイヤが世界最大の農業機械展で受賞

グループ会社のATGのタイヤ「Alliance 398 MPT」アライアンス・サンキューハチ・エムピーティーが世界最大の農業機械展「AGRITECHNICA 2019」(独)における「Innovation Award AGRITECHNICA」で銀賞を受賞しました。「Alliance 398 MPT」は農場や舗装路など路面状況に合わせて空気圧を自動で調整できるセントラルタイヤインフレーションシステムに対応。また、農場での優れた性能とオンロード性能を両立したほか、最高時速100kmを実現したことで輸送作業の効率化にも貢献するなど革新性に優れた商品として表彰されました。



受賞した「Alliance 398 MPT」

深田恭子さん出演の新CMを放映開始

本年1月、女優の深田恭子さんを起用したテレビCMを放映開始しました。知名度が高く老若男女問わず人気の高い深田さんに雨天時の運転でも安心なヨコハマタイヤの安全性を語ってもらうことで、一昨年より継続訴求してきた“雨に強いヨコハマ”を視聴者により強く印象付けます。新CMは雨の中傘を差した深田さんが、ウェットグリップ性能「a」のタイヤの安全性をかわいらしいユーモアを交えながら語りかける内容となっています。CMのワンシーン



技術開発

フォーミュラカーレースの新シリーズにワンメイク供給

本年より開催される「全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権」へ「ADVAN」レーシングタイヤをワンメイク供給します。同選手権は1979年に始まった「全日本F3選手権」の後継シリーズとして新たにスタート。当社は2011年から「全日本F3選手権」に継続供給しており、レースに求められる性能を十分に満たしてきた実績が評価されました。



「ADVAN」レーシングタイヤを装着した参戦車両

タイヤセンサーを共同開発

昨年10月、アルプスアルパイン（株）と乗用車用タイヤセンサーの共同開発を行っていることを公表しました。当社はタイヤ空気圧に加え、



タイヤ内側に取り付けられたセンサー

摩耗状態や路面状況のデータをデジタルツールで処理・管理するIoT技術の研究開発を促進していますが、共同開発によりこれらのデータをユーザーなどにフィードバックするシステムやアプリケーションの開発を進め、新たなタイヤビジネスモデルでの相乗効果を目指します。

過酷なオフロードレースで7位入賞

本年1月、「SSANGYONG MOTORSPORT/SODICARS RACING」のSUV・ピックアップトラック用タイヤ「GEOLANDAR M/T G003」装着車が「ダカールラリー2020」に参戦し、二輪駆動ガソリン車で競われるT1.3カテゴリで7位入賞しました。砂漠地帯を含む7,500km以上の過酷なレースにおいて、「GEOLANDAR M/T G003」は優れたオフロード性能を発揮しチームに貢献しました。



「GEOLANDAR M/T G003」装着車と参戦選手

ゴルフ

新クラブシリーズ発売

昨年9月、「年齢」「性別」「既存概念」にとらわれない”をコンセプトとした飛び、やさしさを求めるゴルファー向けの「egg」シリーズから「NEW egg 5500 ドライバー」を発売しました。業界最大の重心角によりヘッドの自然なターンを促すことで、よくつかまりミスに強いドライバーとなっています。「NEW egg」シリーズでは、フェアウェイウッド、ユーティリティ、アイアン2モデルを同時発売しています。



「NEW egg 5500 ドライバー」

ブランド強化

チェルシーFCと新たなパートナー契約を締結

2015年7月から5年間の契約で締結したイングランド・プレミアリーグ「チェルシーFC」とのオフィシャルシャツパートナー契約を2020年6月で終了するとともに、同年7月から複数年のオフィシャルグローバルタイヤパートナー契約を締結しました。2015年以来、公式ユニフォームなどに当社のロゴが使用され欧州やアジアを中心にグローバルで認知度が向上しました。今後も各種広告宣伝・販促物へのロゴ・選手・監督の使用は継続して可能なた



め、引き続きチェルシーFCを活用していきます。

チェルシーFCの選手たち

気候変動への対応が国際的に高い評価

本年1月、持続可能な経済の実現を目指す国際的な環境非営利団体「CDP」から「気候変動Aリスト2019」に選定されました。同リストへの選定は2016年に続き2度目となり、当社の気候変動に対する活動が世界的に優秀であると評価されました。CDPの年次の環境情報開示とその評価プロセスは企業の環境情報開示におけるひとつの基準として広く認知されており、2019年度は全世界8,000社以上の中から世界で179社、日本で38社がAリストに選定されました。



CDPのロゴマーク

CSR

持続可能な天然ゴム調達のための覚書を締結

本年1月、天然ゴムの持続可能性を実現する活動の一環として、タイ天然ゴム公社（Rubber Authority of Thailand : RAOT）と天然ゴム農園の経営支援およびトレーサビリティの向上に向けて協力する覚書を締結しました。これに先立ち、昨年6月よりタイ・スラタニ地区での天然ゴム農園の調査を開始しています。今後は調査結



RAOTとの覚書調印式

果から天然ゴム農園の持つ課題を分析して天然ゴム農園の持続可能な経営に貢献するとともに、トレーサビリティの向上に活用していく考えです。

世界的なESG投資指数に15年連続で選定

世界的なESG（Environment=環境、Social=社会、Governance=ガバナンス）投資指数「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に15年連続、また日本株を対象とした「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に3年連続で選定されました。近年ではリーマンショック後の企業への投資判断として、従来の売上高や利益などの財務情報以外に企業のESG活動を考慮する「ESG投資」に注目が高まっています。「FTSE4Good Index Series」はESG投資を行う投資家の重要な投資選択基準として世界的に活用されているほか、「FTSE Blossom Japan Index」は年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用したESG投資のための4つの指数のひとつに選定されており、当社のESG活動や情報開示の姿勢は世界的に高く評価されています。

役員 (2020年3月27日現在)

取締役及び監査役		
代表取締役社長	山石	昌孝
取締役専務執行役員	三上	修
取締役常務執行役員	野呂	政樹
取締役常務執行役員	松尾	剛太
取締役執行役員	中村	亨
取締役執行役員	Nitin Mantri	
社外取締役	岡田	秀一
社外取締役	竹中	宣雄
社外取締役	河野	宏和
社外取締役	山根	節
社外取締役	堀	雅寿
常任監査役	菊地	也寸志
常勤監査役	内田	寿夫
社外監査役	亀井	淳
社外監査役	清水	恵
社外監査役	木村	博紀

執行役員 (取締役兼務者を除く)

専務執行役員	瀧本	真一
常務執行役員	挾間	浩久
常務執行役員	岸	温雄
常務執行役員	山本	忠治
常務執行役員	池田	均
常務執行役員	Jeff Barna	
執行役員	近藤	成俊
執行役員	城川	隆
執行役員	中山	靖夫
執行役員	清宮	真二
執行役員	宮本	知昭
執行役員	結城	正博
執行役員	塩入	博之
執行役員	矢羽田	雄彦
執行役員	中村	善州
執行役員	藤津	聡
執行役員	梁取	和人

大株主 (2019年12月31日現在)

株主名	持株数(百株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	166,169	10.35
日本ゼオン株式会社	162,765	10.14
朝日生命保険相互会社	109,055	6.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	87,135	5.43
株式会社みずほ銀行	61,300	3.82

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況 (2019年12月31日現在)

所有者区分	株主数(名)	株式数(百株)	株式数比率 (%)
個人・その他	11,199	126,465	7.45
金融機関	89	771,104	45.47
その他国内法人	248	304,410	17.95
外国人	535	320,772	18.91
証券会社	50	81,742	4.82
自己株式	1	90,995	5.36
合計	12,122	1,695,490	100.0

株主メモ

決算期	12月31日
定時株主総会	3月開催
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 及び電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区泉桑2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-782-031 (フリーダイヤル)
基準日	12月31日、その他必要により取締役会で決議し、あらかじめ公告します。
配当金受領株主確定日	12月31日及び中間配当を行うときは6月30日
公告方法	電子公告

株式事務手続きのお問い合わせ先

- お取引の証券会社の口座に記録された株式についての住所変更、名義変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受け取り方法の指定など



お取引口座を開設されている証券会社

- 未受領の配当金に関する照会
- 特別口座に記録された株式についての一般口座への振替請求、住所変更、名義変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受け取り方法の指定など



株主名簿管理人・特別口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社

横浜ゴム株式会社 〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号
TEL (03) 5400-4500 <https://www.y-yokohama.com>
(作成元: 総務部)

環境保全のため、
FSC®認証紙と植物油インキを使用し印刷しています。

